

令和7年度 学校経営方針

(1) 本校の使命

本校は、知的障害のある児童生徒に対して、自立と社会参加のために必要な資質・能力の育成を図ることを目的とする特別支援学校である。併せて、附属学校として次に挙げる使命をもっている。

○教育学部と一体になり、知的障害のある児童生徒に対する教育の在り方について、長崎県域のモデル校として、実証的・理論的な研究を行い、その成果を広く発信することで、特別支援教育の充実・発展に貢献する。

○教育学部の計画に沿って、理論と実践が往還した教育実地研究の指導にあたり、特別支援学校等の教員をめざす学生の指導・育成に努める。

○教育学部と連携して、特別な教育的支援を必要とする幼児・児童生徒が在籍する幼保・小中学校・高等学校等に対する支援や教職員を対象とした研修を積極的に推進する。

(2) 校 訓

「生きる喜び」

自立し社会に参加・貢献するには、様々な学習活動や生活体験を通して、自分の内面や外界に「生きる喜び」をつくるのが大切である。児童生徒は、物事に対して知的好奇心や興味関心を抱き、主体的に課題を解決する経験を通して、成就感や喜びを味わう。また、社会に広く向き合い、多様な他者の考えを尊重して共に協働することで、よりよい人間関係を築くとともに他者を思いやる心を育んでいく。このようにして「生きる喜び」を児童生徒一人一人がつくり、それを原動力として意欲的な生活を送ることで、自己実現に向けて精一杯取り組んでほしい。

「生きる力」

自分のよさや可能性を肯定的に捉え、個々の特性と発達に即した「生きる力」を身に付けることが必要である。児童生徒は、様々な学習活動や生活体験を通して、自己を育みながら、生きるために必要な資質・能力を身に付けていく。さらに、様々な課題に対して、ものの見方・考え方を働かせて自己選択・自己決定するとともに、自分の考えや行動を客観的に理解する力を身に付けていく。このようにして「生きる力」を児童生徒一人一人が身に付け、それを活かして自分の生き方を自己選択・自己決定しながら生涯を通じて豊かな生活を送ってほしい。

(3) 学校教育目標

生きるために必要な資質・能力を育成するとともに児童生徒一人一人の自己の形成（キャリア発達）を促すことで、生涯を通じて社会に参加・貢献して豊かな生活を送ろうとする人間の育成を目指す。

(4) 目指す学校像 「あいうえおの学校」

あ 明日が楽しみな学校（通いたい学校・通わせたい学校・通ってよかった学校）

い 命を大切にできる学校（安心安全な学校・人権を尊重する学校）

う うれしい自分・できる自分に出会える学校（キャリア発達を促す学校）

え 笑顔とあいさつで明るい学校（人と人とのつながりを大切にする学校）

お おもしろい授業で学べる学校（深い学びや協働的な学びを追究する学校）

(5) 目指す児童生徒像

- ・ 健やかにたくましく生きる子
- ・ 生き生きと学ぶ子
- ・ 生きがいをもち努力する子
- ・ 思いをもって決められる子
- ・ 思いやりのある子

(6) 求める教員像

情熱のある教員（心）	○児童生徒の瞳を輝かせ、心を温かくする。 ○児童生徒とともに本気になって夢を追いかける。 ○冷静に自身を振り返り、確かな教育観を築いていく。
信頼される教員（信）	○自己肯定感を高める中で児童生徒の良さに気付くことができる。 ○児童生徒や保護者、地域から信頼される。 ○思考力や判断力、表現力を高め、仲間と力を合わせて課題解決できる。
学びを深める教員（深）	○研修テーマを掲げ、実践的指導力の向上に努める。 ○よりよい授業を追求し、授業改善に励む。 ○地域の特別支援教育の充実や発展に貢献できる。

(7) 各部教育目標

【小学部：意欲づくり】

○身近な人や物と関わる中で自分に気付き、自分なりに考え、自分から行動しようとする意欲を育てる。

- ・言葉や数などの基礎的・基本的な力を身に付けるとともに、身近なことへの興味関心を広げる。
- ・友達や教師との関わりを広げ、協力する態度を身に付ける。
- ・基本的な生活習慣を身に付けるとともに、元気に体を動かすことを通して、健康で丈夫な体を育む。

【中学部：基盤づくり】

○仲間とともにいろいろなことにチャレンジし、自分の成長を実感することを通して、社会参加の基盤となる力を高める。

- ・日常生活や社会生活で活用できる知識や技能の習得を図るとともに、自ら主体的に学ぼうとする意欲をもつ。
- ・自分のよさに気づき、仲間と協力して、いろいろなことにチャレンジする態度を身に付ける。
- ・生活習慣を確立し、身体の成長を受け入れながらたくましく生きるための体力や精神力を養う。

【高等部：主体づくり】

○社会を生きる主体として、自分の生き方・在り方を考え、自ら選択・決定する過程を通して、自立的な生活・社会参加を目指す。

- ・社会で自分らしく活躍するために必要な知識や技能を習得し、多様な人々と協働するための表現力を身に付ける。
- ・社会のルールやマナーを守り、自分も他の人々も大切にしながら、生きるために主体的な判断力と行動力を身に付ける。
- ・生涯にわたり、健康に生きるための体力と生活習慣を理解し、自己管理する力を高める。

(8) 学校経営目標

- ① 社会に開かれた教育課程を編成し、PDCA サイクルにより効果的に運用する。
- ② 児童生徒の教育的ニーズに応じた授業実践とともに指導力向上のための研修に取り組む。
- ③ 12年間を見通した自己の形成（キャリア発達）を促し、卒業後の進路実現を支援する。
- ④ 知的障害教育に関する実証的・理論的研究に取り組む。
- ⑤ 児童生徒が主体となり光輝く教育活動を創造し実践する。
- ⑥ 児童生徒の健康管理・安心安全な教育環境整備・組織的危機管理対応に常時から取り組む。
- ⑦ 実習生が教職の基礎・基本を学び、教職の良さに気づくことができるような教育実習を推進する。
- ⑧ 校内支援の推進とともに、特別支援教育のセンター的機能を発揮する。
- ⑨ 本校教育活動への理解啓発や学びの場としての本校選択につながるような情報発信に取り組む。
- ⑩ 附属学校教員として児童生徒・保護者・地域に信頼される教職員集団であり続ける。
- ⑪ 働きやすい職場づくりを推進する。

(9) 令和7年度学校経営努力目標



長崎大学

【教育学部】

特別支援教育コース
幼児教育コース
小学校教育コース
中学校教育コース

【附属学校】

幼稚園・小学校・中学校

教育学部以外の学部

業務支援室

きらりサポートステーション

共同研究・研修

教育実践研究フォーラム

教育実習・参加観察実習

学生の学校訪問

ゲストティーチャー招聘（幼小中）

附属キャリアチャレンジプロジェクト

特支COによる園内・校内支援
サポート

保育・授業参観交流

例）工学部 創成プロジェクト

大学施設を使った学習

校外実習・現場実習

HP・Instagramでの情報発信

長崎県域の学校など



幼・保・認定こども園
小学校・中学校・高校
特別支援学校

研修機会の提供「公開セミナー」

教材教具など特支教育に関する情報提供

令和7年度 学校経営テーマ 「ひらく・つながる 附特のチャレンジ」

「ひらく」：大学（教員・学生）や地域に開く・発想とその実現（拓く）
「つながる」：大学や地域のリソースを活用した創造的な教育活動の推進。
「附属らしさ」の発揮。

附属特別支援学校

生涯を通じて社会に参加・貢献して
豊かな生活を送ろうとする人間の育成



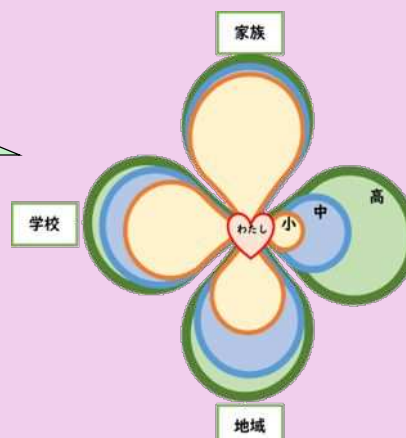
高等部（主体づくり）

中学部（基盤づくり）

小学部（意欲づくり）

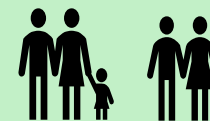
生きるために
必要な資質・能力の育成
自己の形成（キャリア発達）
の促進

<ふとく☆キョウイクローバー>



*キョウイク=「教育」と「共育」の二つの意味。
ふとく☆キョウイクローバーは、各部段階における、
各生活の場「家族」「学校」「地域」「社会」の
広がり示している。

入学志願の方



お子さん・家族・関係者

オープンスクール・体験入学

HP・Instagramでの情報発信

中学部：総合的な学習の時間「長崎探究」

HP・Instagramでの情報発信

小学部：生活科

高等部：総合的な探究の時間

HP・Instagramでの情報発信

地域・社会



ふるさと長崎

地域・社会



柳が丘自治会・住吉商店街

地域・社会



居住地校・居住地域

現場実習

福祉事業所説明会

関係機関



企業・福祉事業所

HP・Instagramでの情報発信

就労選択支援制度スタート（R7.10）

関係機関



相談支援事業所

情報交換・実習先開拓・職場見学

関係機関



中小企業家
同友会

小中：居住地校との交流及
び共同学習